

危険物施設の防火管理、防火防災について

JXTG エネルギー株式会社仙台製油所 環境安全グループマネージャー 寺田 進亮

JXTG エネルギー仙台製油所は、先の東日本大震災で甚大な被害を受けており、また、危険物を大量に扱うことから常日頃、防火管理、防火防災については特に注意を払って業務にあたっております。

仙台製油所は24時間の連続操業により東北地区の石油製品の安定供給に努めており、製油所設備の安全・安定操業は、企業としての最大の使命として操業を行っております。

安全・安定操業を達成するため、運転部門による運転状況の異常の有無を確認する定期的なパトロール、保守管理部門による設備維持管理のための計画的な点検及び点検結果による取替補修を実施し、安全確保に努めております。

また一方で、仙台製油所内の設備の非常事態発生時に速やかかつ適切な対応をとるため、社員及び協力会社員で組織する製油所内非常事態自衛防災組織を編成しております。自衛防災組織はその組織が有効に機能し被害を最小限にとどめるべく、計画的な訓練を実施し各自の役割を確認しております。

訓練は、総合防災訓練として年3回実施しており、訓練の内容は製油所内の装置の非常事態や、地震津波発生を想定したものとなっております。装置の非常事態においては、装置の火災等を想定し、その発災確認時の対応から関係官庁等への連絡、消火戦術等の指揮命令系統の確認、各担当の行動内容を確認します。津波避難訓練は構内に入構している全社員及び協力会社員が参加して実際に避難場所までの移

動等を実施し避難場所の確認を行います。またその他訓練として、防災要員による放水訓練、社員・協力会社員を対象とした消火器を使用しての実際に火を消す消火器取扱い訓練、夜間・休日の非常事態発生に備えた、運転職場と夜間休日に配置される当直員を対象とした当直者初動対応訓練など、様々な事象を想定し訓練を実施しております。

また、仙台地区石油コンビナート等特別防災区域内にある近隣事業所11社と仙台地区共同防災運営協議会を組織しそれぞれの会社で非常事態が発生した際には、共同防災センター防災隊がいつでも出動出来る体制としており、これについても定期的な放水訓練等を実施しております。

さらには宮城県主催による石油コンビナート等防災訓練も2年に1回 JXTG 構内において開催され、宮城県内での大規模災害に備えた訓練に関係官庁、近隣企業にて実施しております。2017年度は、十勝沖地震での北海道の製油所のタンクの大規模火災の鎮火に時間を要したことへの教訓から全国を12箇所に分けて配備されている大容量泡放射システムを秋田(東北ブロック常備地)より搬送し、実際に放水訓練を実施しました。これは、一般的に配備されている消防車の6～10倍の放水量を確保することができるものです。

これまで述べましたとおり、JXTG エネルギー仙台製油所としましては、防火・防災に向け様々な対応を実施しており今後も安全安定操業の継続に向け日々対応をしてまいります。



【消火器取扱い訓練】



【大容量泡放射システム】